

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 12 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

2つの かずで 10を つくります。
たて、よこ、ななめで 3こ みつけて、せんで かこみましょう。

(やりかた)

5	3	2	4
5	4	6	5
3	9	7	3
1	4	8	2

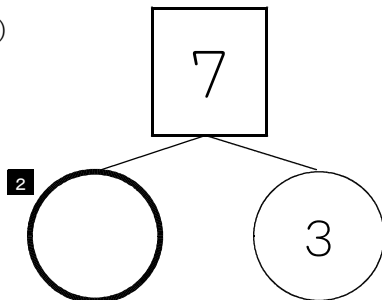
1 (もんだい)

5	1	2	8
3	4	3	6
3	1	6	2
5	9	5	7

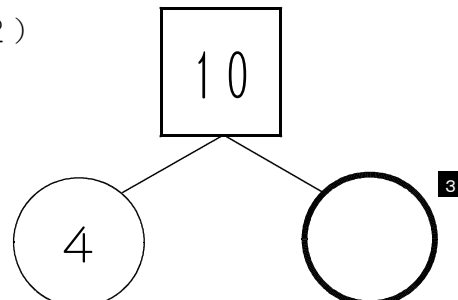
2

あわせて □ のかずになるように ○ に あてはまる かずを かきましよう。

(1)



(2)



3

おなじ こたえに なる けいさんを、せんで つなぎましょう。

4

$$1 + 7$$

●

●

$$6 + 4$$

5

$$5 + 5$$

●

●

$$2 + 6$$

6

$$7 + 2$$

●

●

$$4 + 5$$

※つぎのページにも、もんだいがあります。

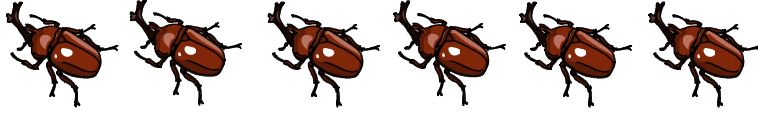
4

つぎの もんだいに こたえましょう。

(1) まえから 3びきめを せんで かこみましょう。

7

まえ



うしろ

(2) みぎから 4ほんまで せんで かこみましょう。

8


ひだり



みぎ

5

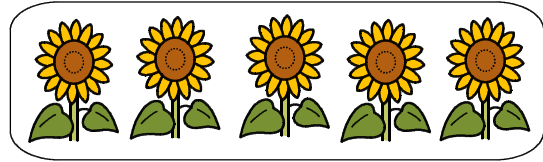
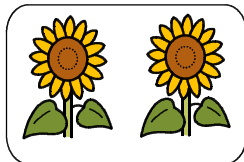
つぎの もんだいに こたえましょう。

(1)  は、あわせて なんぼんですか。

ひまわり

したの【え】を つかって かんがえ、しきと こたえを かきましょう。

【え】



9

しき

10

こたえ

(2) ゆいさんたちは、3にんで そうじをしています。

6にん くと、みんなで なんにん になりますか。

したの【ず】を つかって かんがえ、

しきと こたえを かきましょう。



【ず】



11

しき

12

こたえ

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

なおとさんの クラスでは、図書室から 本を 月曜日に 14 冊、火曜日に 6 冊 かりました。なおとさんは、2 日間で 何冊 かりたのか 計算するために、つぎの ように しきを 立てて、ひっ算しました。

なおとさんが 立てた しき	14 + 6
なおとさんが 考えた ひっ算	$\begin{array}{r} 14 \\ + 6 \\ \hline 20 \end{array}$



(1) なおとさんが 考えた ひっ算を見た ゆりのさんは、「その ひっ算は まちがっているよ。」と 言いました。そのわけを 「くらい」という 言葉を つかって せつ明しましょう。

1

(2) 正しい 答えを 書きましょう。

2

2

57 - 29 を つぎの ように ひっ算します。

- ① くらいを たてに そろえて 書きます。
- ② 一のくらいの 計算を します。7 から 9 は ひけないので、十のくらいから ⑦ くり下げて 計算します。17 - 9 = 8 になります。
- ③ 十のくらいを 計算します。① = 2 に なります。
- ④ だから 答えは 28 に なります。

(1) ⑦①に あてはまる 数や、しきを 書きましょう。

3

⑦

4

①

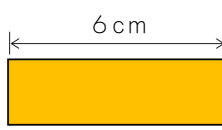
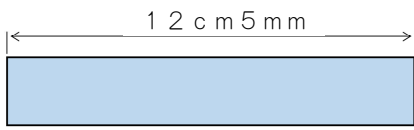
(2) 57 - 29 に なる もんだいを つくりましょう。

5

3

なが 長さが 12 cm 5 mm の テープと、6 cm の テープが あります。

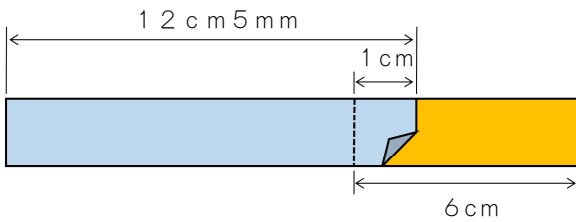
(1) 2つの テープの 長さを 合わせると、全体の 長さは 何 cm 何 mm になりますか。



6

c m	m m
-----	-----

(2) 2つの テープを つぎのように かさねて 合わせると、全体の 長さは 何 cm 何 mm になりますか。

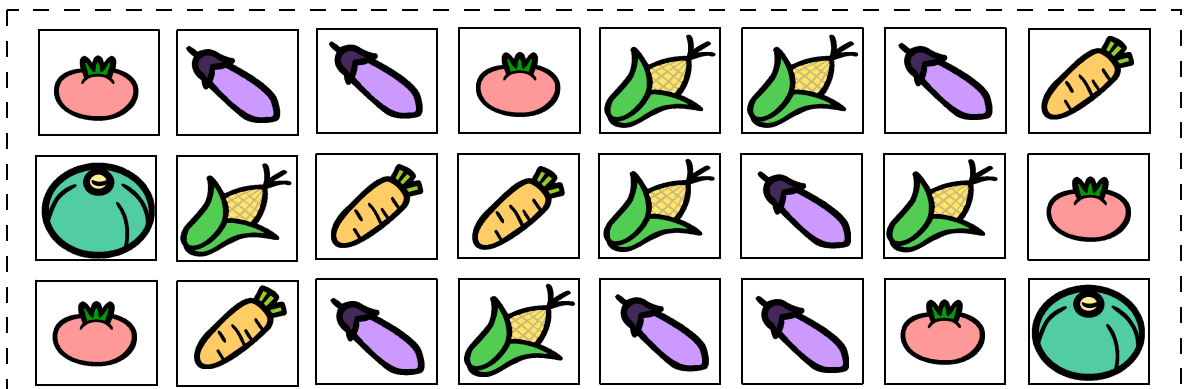


7

c m	m m
-----	-----

4

下の ような やさいの 絵が あります。つぎの もんだいに 答えましょう。



(1) の 中の やさいの 絵の 数を、○を つかって グラフに あらわしましょう。

○				
○				
○		○		
○		○		
○		○		
○		○		○
○		○		○
なす 	8 どうもろこし 	トマト 	9 にんじん 	かぼちゃ

(2) トマトの 絵と かぼちゃの 絵では、どちらが 何まい 多いですか。

こたえ 10 の絵が 多い。

★先生方へ～解答欄の1～12は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 いろいろなかけ算のきまりを使った、(1)～(3)までのかけ算の式があります。使ったかけ算のきまりを、下のアからウまでの中から1つずつえらび、記号を書きましょう。

- (1) $9 \times 5 = 5 \times 9$ 使ったかけ算のきまり 1
- (2) $7 \times 0 = 0$ 使ったかけ算のきまり 2
- (3) $3 \times 10 = 3 \times 9 + 3$ 使ったかけ算のきまり 3

ア どんな数に0をかけても答えは0になります。
 イ かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなります。
 ウ かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。

2 下の表は、九九の表です。
 表の●と★にあてはまる数を書きましょう。

かける数

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	
4	4	8	12	●	20	24	28	32	36	
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54	
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63	
8	8	16	24	★	40	48	56	64	72	
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81	

- 4 ●
- 5 ★

※次のページにも、もんだいがあります。

3

めいさんは、340円の本を買いに行きます。家の人から500円玉を1まいと10円玉を4まいわたされました。

500円あれば足りるのに、どうして家の人から540円をわたしたのか、めいさんは、次のように考えました。



500円玉1まいではらうと、 $500 - 340 = 160$ で、おつりは160円です。

540円をはらうと、おつりは40円多くなるので、(①) 円になります。

だから、家の人には、おつりのこう貨の(②) がいちばん少なくなるようにしてくれたのだと思います。

(1) ①にあてはまる数を書きましょう。

6

(2) ②にあてはまる言葉を、下のアからウまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

ア まい数と金がかく

イ まい数としゅるい

ウ 金がかくとしゅるい

7

4

たくみさんは、 $292 - 45$ の計算をするとき、右のように筆算ひっさんをしました。

たくみさんの筆算ひっさんの説明として正しいものを、下のアからウまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

【たくみさんの筆算ひっさん】

$$\begin{array}{r} 292 \\ - 45 \\ \hline 257 \end{array}$$

ア たくみさんの計算は正しく、まちがえていません。

イ 45を右にそろえて計算しているので、まちがいです。

ウ 十の位の計算から1くり下げずに計算しているので、まちがいです。

8

※次のページにも、もんだいがあります。

5

ひろみさんたちは、バスに乗って図書館に行きます。
 下の表は、乗車するバスでの時刻表の一部です。

時	図書館行きバス 時刻表			
8	20	50		
9	20	35	50	
10	05	20	35	50
11	05	20	35	50

朝いちばん早いバスは、午前8時20分です。その次のバスは、午前8時50分です。



(1) ひろみさんの家からバスでいまでは、歩いて25分かかります。
 午前9時50分のバスに乗るために、バスが発車する5分前までにバスでいにつくようにするには、家を午前何時何分までに出発すればよいですか。下のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

- ア 9時20分
- イ 9時35分
- ウ 9時45分
- エ 9時50分

9

(2) ひろみさんたちは、このバスでいに午前10時15分に集合しました。
 ここからバスに乗ると図書館までは20分かかります。
 午前11時までに、図書館に着くためには、午前何時何分に発車する予定のバスに乗ればよいですか。下のアからエまでの中から正しいものをすべてえらび、記号を書きましょう。

- ア 10時05分
- イ 10時20分
- ウ 10時35分
- エ 10時50分

10

※次のページにも、もんだいがあります。

6

答えをもとめる式が $12 \div 3$ になるものを下のアからオまでの中からすべてえらび、記号を書きましょう。

- ア 12人の子どもにあめを3こずつくばります。あめは何こいらいますか。
- イ 1ふくろに12こ入っているおかしが3ふくろあります。おかしは、ぜんぶで何こありますか。
- ウ 12人を同じ人数ずつ3つのチームに分けます。1チームは何人になりますか。
- エ チョコレートが12こあります。3こ食べると、のこりは何こですか。
- オ おり紙が12まいあります。一人に3まいずつ分けると、何人に分けられますか。

11

7

次の問題の答えをもとめる式として、正しいものを下のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

18このあめと27このクッキーがあります。9このはこに同じ数ずつ分けると、クッキーは1つのはこに何こ入りますか。

- ア $18 + 27$
- イ $27 - 9$
- ウ 18×27
- エ $27 \div 9$

12

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

けいたさんは、324まいの色紙を、何人かで同じ数ずつ分けようとしています。次の問題に答えましょう。

- (1) けいたさんは、色紙を3人で分けようと考え、1人分が何まいになるのかを計算するとき、右のように筆算をし、そのことを説明しました。□に当てはまる数を書きましょう。

けいたさんの筆算

$$\begin{array}{r} 108 \\ 3 \overline{)324} \\ \underline{3} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

けいたさんの説明

まず、わられる数の百の位の3をわる数の3でわります。 $3 \div 3 = 1$ なので、百の位に1をたてます。

次に、わられる数の十の位の 1 をおろします。

$2 \div 3$ はできないので、十の位に 2 をたてます。

そして、わられる数の一の位の 3 をおろします。

$24 \div 3 = 8$ なので、一の位に8をたてます。
 わる数の3とたてた8をかけて24になります。
 さいごに、24から24をひくと0になります。
 だから、商は108です。

- (2) けいたさんは、色紙を7人で分けようと考え、右のように筆算をし、「45あまり9」と筆算の答えを出しましたが、答えがまちがっています。まちがいについての説明として、正しいものを下のアからエまでの中から1つ選びましょう。また、正しい筆算の答えをカからケまでの中から1つ選びましょう。

けいたさんの筆算

$$\begin{array}{r} 45 \\ 7 \overline{)324} \\ \underline{28} \\ 44 \\ \underline{35} \\ 9 \end{array}$$

(説明)

- ア 十の位に3をたてることができるので、まちがいです。
 イ 十の位に5をたてることができるので、まちがいです。
 ウ あまりの9がわる数の7より大きいので、まちがいです。
 エ あまりの9がわられる数の7より大きいので、まちがいです。

(筆算の答え)

- カ 46
 キ 46あまり9
 ク 45あまり2
 ケ 46あまり2

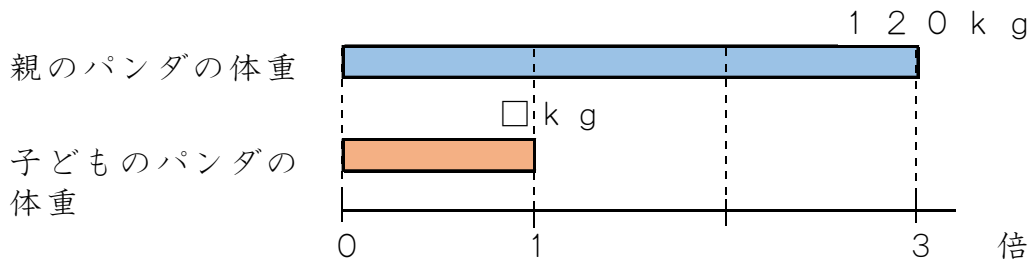
4 (正しい説明)

5 (筆算の答え)

※次のページにも、問題があります。

2

下の図を見て答えましょう。



(1) 上の図に当てはまらない文を下のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア 親のパンダの体重は120 k gです。
- イ 親のパンダの体重と子どものパンダの体重をくらべています。
- ウ 子どものパンダの体重を□ k gとしています。
- エ 子どものパンダの体重は、親のパンダの体重の3倍です。

6

(2) 上の図を見て、「120 k g」「3倍」という言葉を用いて子どものパンダの体重を^{もと}求める問題として、正しいものを下のアからエまでの中から1つ選びましょう。

(問題)

- ア 子どものパンダの体重は120 k gで、親のパンダの体重の3倍です。子どものパンダの体重は、何 k gですか。
- イ 親のパンダの体重は120 k gで、子どものパンダの体重の3倍です。子どものパンダの体重は、何 k gですか。
- ウ 親のパンダの体重は120 k gで、親のパンダの体重の3倍です。子どものパンダの体重は、何 k gですか。
- エ 子どものパンダの体重は120 k gで、子どものパンダの体重の3倍です。子どものパンダの体重は、何 k gですか。

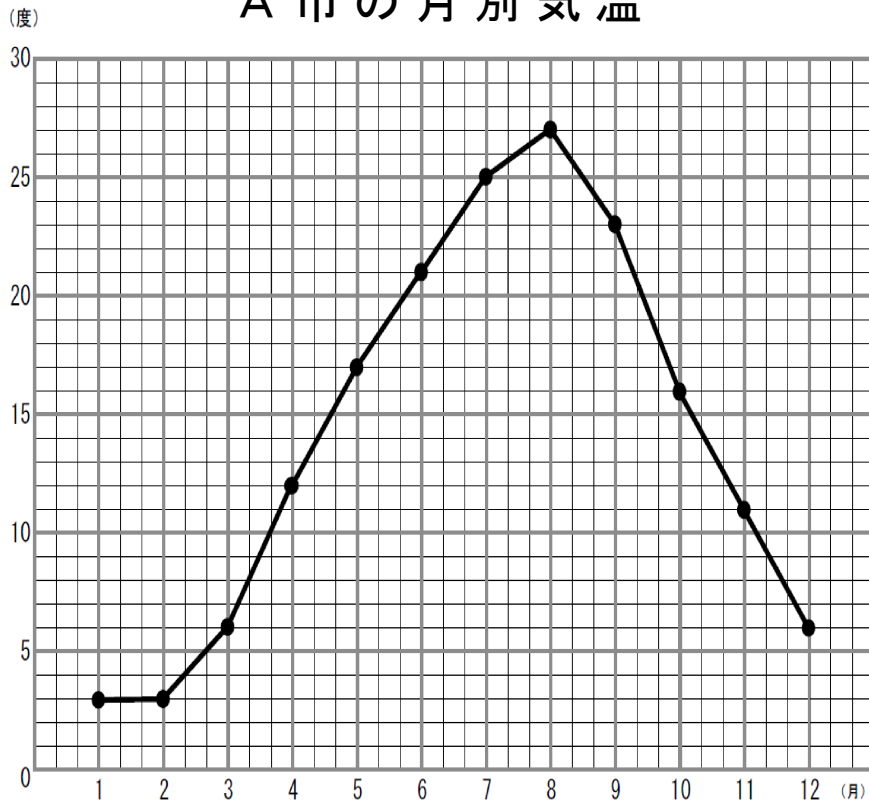
7

※次のページにも、問題があります。

3

下の折れ線グラフは、A市の1年間の気温の変わり方を表したものです。次の問題に答えましょう。

A市の月別気温



(1) 気温の上がり方が一番大きいのは、何月から何月までの間ですか。正しいものを下のアからエまでのの中から1つ選びましょう。

ア 3月から4月

イ 6月から7月

ウ 9月から10月

エ 11月から12月

8

(2) 1月から12月までの間で、気温が一番高いときと一番低いときの差は何度か、書きましょう。

9 度

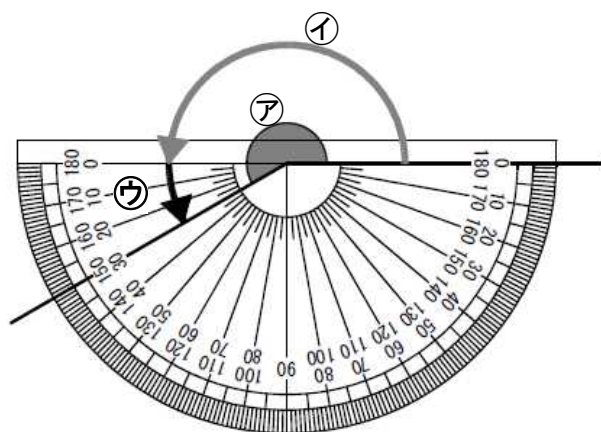
(3) 1年間の気温の変わり方など、変化していくものの様子を表すには、折れ線グラフを使うとよいです。その理由として、正しいものを下のアからエまでのの中から1つ選びましょう。

- (理由)
- ア 一番気温が高いときと、一番気温が低いときの差がわかるから。
 - イ 一番気温が高い月がわかるから。
 - ウ 12月よりも1月と2月の方が気温が低いことがわかるから。
 - エ 線のかたむきに注目すると、変わり方がくわしくわかるから。

10

※次のページにも、問題があります。

4 けいたさんは、 $\textcircled{ア}$ の角の大きさの求め方を、次のように説明しました。□
 に当てはまる数を書きましょう。



けいたさんの説明

$\textcircled{ウ}$ の角の大きさをはかると¹¹ 度です。

$\textcircled{イ}$ の角の大きさは、¹² 度です。

だから、 $\textcircled{ア}$ の角の大きさは、¹³ 度です。

★先生方へ～解答欄の 1 ～10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

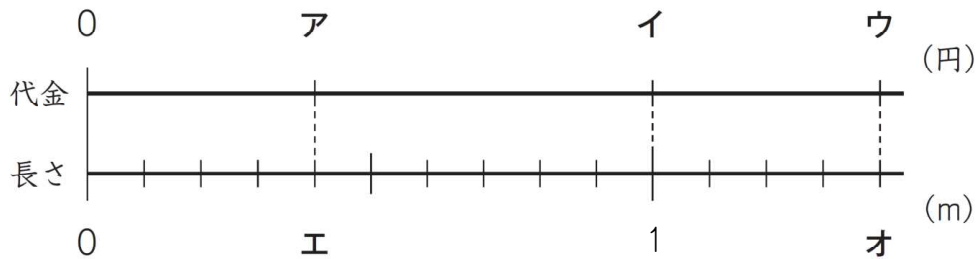
1

さつきさんは、1 mあたりの値段が60円のリボンを0.4 m買うために、代金がいくらになるかを考えています。
次の問題に答えましょう。

(1) リボン0.4 mの代金を□円として、リボンの長さとの関係を下の図に表して考えることにしました。

1 mあたりの値段の「60」、買う長さの「0.4」、0.4 m分の代金の「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。



1 60の場所

2 0.4の場所

3 □の場所

(2) 0.4 m分の代金を求めるための式を 60×0.4 としました。

60×0.4 の答えを求めるために、次のように、 60×4 の答えを使いました。

①では、どのようなことをしましたか。

下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

$$\begin{array}{rcccl}
 60 & \times & 0.4 & = & \boxed{} \\
 & & \downarrow 10 \text{ をかける} & & \uparrow \boxed{\text{①}} \\
 60 & \times & 4 & = & 240
 \end{array}$$

1 10 をかける

2 10 である

3 そのまま答えにする

4

※次のページにも、問題があります。

2

1、3、4、9のカードを1まいずつ使い、下の□に当てはめて小数をつくりまします。

□	.	□	□	□
---	---	---	---	---

次の問題に答えまします。

(1) 下のアからエまでの中から、つくりることができる数のうち、いちばん大きい数を1つ選んで、その記号を書きまします。

- ア 9. 9 9 4
- イ 9. 1 3 4
- ウ 9. 4 3 1
- エ 9. 8 7 6

5

(2) ゆうたさんとみさきさんは、つくりることができる数のうち、4にいちばん近い数をつくらうとして、次のように話し合いました。

ゆうたさん「小数点の左が4になる数のうち、いちばん小さい数が4に近いから、4.139だと思ふよ。」
みさきさん「もっと4に近い数をつくれないかな。小数点の左が3になる数のうち、いちばん大きい数も4に近いと思ふよ。」
ゆうたさん「小数点の左の数が3で、いちばん大きい数は3.941になるね。」
みさきさん「3.941の方が4に近いといえるね。」

みさきさんは、どのような理由で3.941の方が4に近いと考えたのでしょうか。

下のアからエまでの中から、1つ選んで、その記号を書きまします。

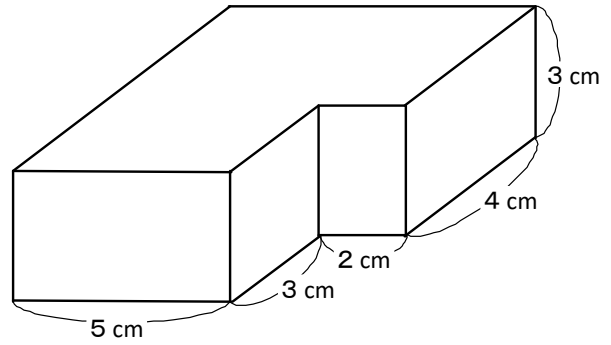
- ア 4.139は、4より大きく、3.941は、4より小さいから。
- イ 4.139と3.941の差が0.198だから。
- ウ 4.139と4の差は0.139、3.941と4の差は0.059で、3.941の方が4との差が大きいから。
- エ 4.139と4の差は0.139、3.941と4の差は0.059で、3.941の方が4との差が小さいから。

6

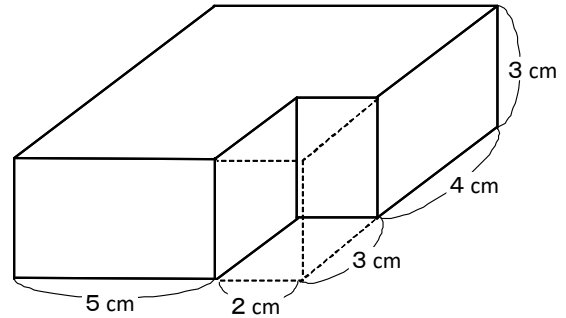
※次のページにも、問題があります。

3

次の立体の体積を求めます。
次の問題に答えましょう。



(1) 右のように線を入れた場合、どのような式で体積を求めたでしょうか。下のアからエまでの中から、この場合の体積を求める式を1つ選んで、その記号を書きましょう。



ア $5 \times 3 \times 3 + 7 \times 4 \times 3$

イ $7 \times 7 \times 3 - 2 \times 4 \times 3$

ウ $7 \times 5 \times 3 - 3 \times 2 \times 3$

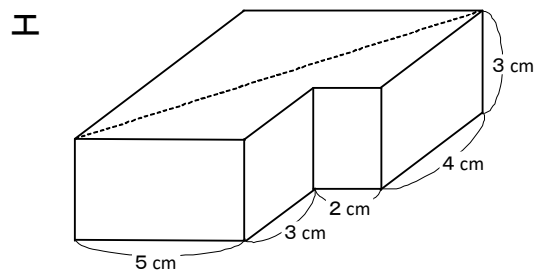
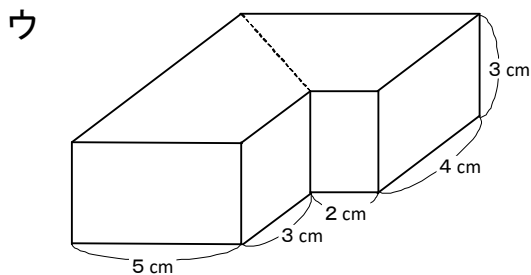
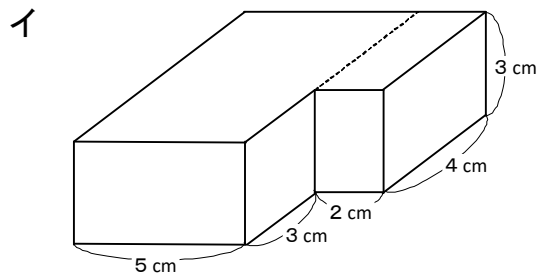
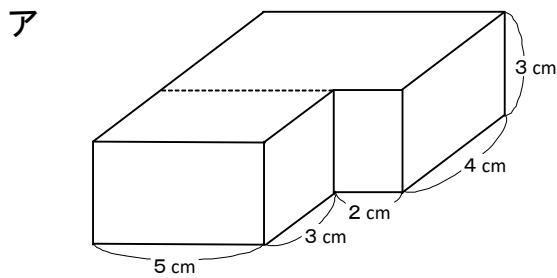
エ $7 \times 7 \times 3 - 3 \times 2 \times 3$

7

(2) 次のような(式)で体積を求めた場合、図にどのような線を入れたでしょうか。

下のアからエまでの中から、1つ選んで、その記号を書きましょう。

(式) $7 \times 5 \times 3 + 4 \times 2 \times 3$



8

※次のページにも、問題があります。

4

ももこさんたちは、日本の^{でんとう}伝統文化について調べました。

(1) ももこさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。

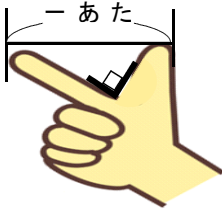



使いやすいはしの長さのめやす

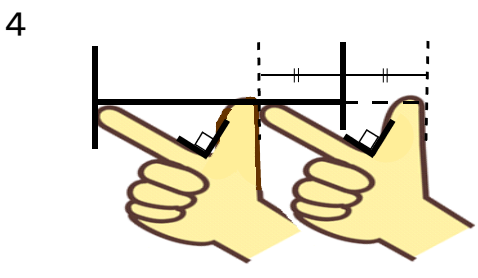
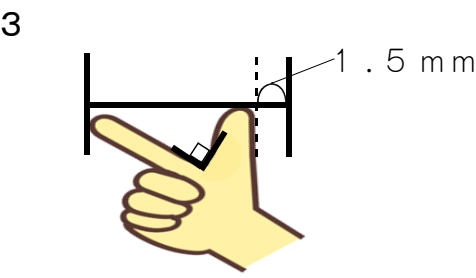
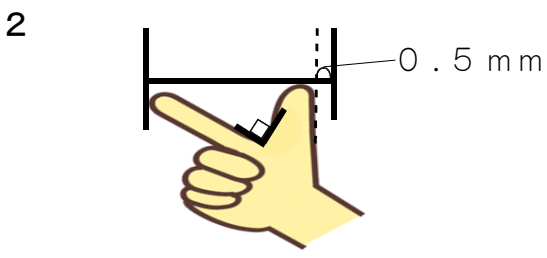
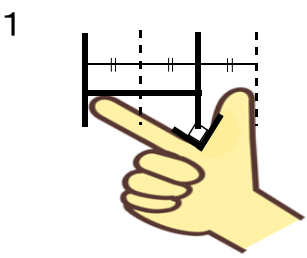
使いやすいはしの長さは「^{ひと}一あた半」と言われています。

一あたは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あたを1.5倍した長さです。



下の1から4までの中から、一あた半の長さを表しているもの() を1つ選んで、その番号を書きましょう。



9

(2) ももこさんは新しいはしを買いに行こうと思いました。
また、ももこさんは一あたの長さについてさらに調べて、下のことがわかりました。

一あたは、身長の約0.1倍の長さです。

ももこさんの身長は140cmです。
ももこさんの身長と、上の使いやすいはしの長さのめやすをもとに、はしの長さは約何cmになるかを求めましょう。

10 約 cm

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 次の問題に答えましょう。

(1) みのりさんは、 $\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$ の計算の仕方を、次のように説明しました。

【説明】

かける数を整数にして考えました。

まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{3}$ を3倍しました。

$$\frac{1}{3} \times 3 = 1 \text{ なので、}$$

$$\frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \text{ となります。}$$

このままでは、積も3倍になるので、積を3でわって、

$$\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4}{15} \text{ となります。}$$

だから、答えは $\frac{4}{15}$ です。

この説明に合う考え方を、下のアからエまでの中から選んで、記号を書きましょう。

【考え方】

ア

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} & & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \times 3 & & \end{array}$$

イ

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} & & \\ \downarrow \times 3 & & \left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\} \div 3 \\ \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \div 3 & & \leftarrow \end{array}$$

ウ

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \div 3 & & \\ \downarrow \times 3 & & \left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\} \div 3 \\ \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} & & \leftarrow \end{array}$$

エ

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \div 3 & & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left(\frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \times 3 & & \left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\} \div 3 \end{array}$$

1

※次のページにも、問題があります。

- (2) みのりさんは、これまでに学習した**計算のしかた**を使って(1)の説明を考えました。みのりさんが使った**計算のしかた**を下の**ア**から**エ**までの中から1つ選んで、記号を書きましょう。

【計算のしかた】

- ア** 23×12 の計算について、 23×10 と 23×2 にわけ、それぞれの答えをたす計算のしかた
イ $92 - 18$ の計算について、 92 と 18 に2をたして $94 - 20$ にする計算のしかた
ウ $1.8 \div 0.6$ の計算について、 1.8 と 0.6 を10倍して $18 \div 6$ にする計算のしかた
エ 15×0.6 の計算について、 0.6 を10倍して 15×6 にし、答えを10でわる計算のしかた

2

- (3) みのりさんは、分数のかけ算の計算練習をする中で、次のことに気づきました。

下の**ア**から**エ**までの中で、どの積が3より小さくなるのかは、計算しなくてもわかります。

ア $3 \times \frac{4}{7}$ **イ** $3 \times \frac{11}{4}$ **ウ** $3 \times \frac{5}{2}$ **エ** $3 \times \frac{14}{17}$

積が3より小さくなる計算はどれですか。**ア**から**エ**までの中からすべて選んで記号で答えましょう。

3

(答え)

また、みのりさんがこのように考えたわけを下の**1**から**4**までの中から1つ選んで記号で答えましょう。

- 1 分数をかけるかけ算の積は、いつでもかけられる数より小さくなるから。
- 2 分数をかけるかけ算の積は、いつでもかけられる数より大きくなるから。
- 3 分数をかけるかけ算でも、小数をかけるかけ算と同じように、1より小さい数をかけると、積はかけられる数より小さくなるから。
- 4 分数をかけるかけ算は、小数をかけるかけ算とちがって、1より小さい数をかけると、積はかけられる数より大きくなるから。

4

(わけ)

※次のページにも、問題があります。

2

さくらさんの学級では、ひし形の1辺の長さを x cm、周りの長さを y cmとして、 x と y の関係を式に表そうとしています。次の問題に答えましょう。

- (1) さくらさんは、まず、1辺の長さとしひし形の周りの長さの数量の関係を調べようと考え、下のような表をつくりました。

x の値が3のときの y の値を求めましょう。

1辺の長さ x (cm)	1	2	3	4
周りの長さ y (cm)				

5

- (2) x と y の関係を表した式を考え、発表し合ったところ、さくらさんの学級では、下のアからオの式が発表されました。

x と y の関係を正しく表している式をアからオまでの中からすべて選び、記号で答えましょう。

ア $x + 4 = y$

イ $x \times 4 = y$

ウ $y - 4 = x$

エ $y \div 4 = x$

オ $4 \div y = x$

6

(完全解答)

- (3) さくらさんは、(2)で考えた式を使うと、大きなひし形でも長さがわかることに気づきました。

周りの長さが52 cmのとき、1辺の長さは何cmになるかを求めましょう。

7

cm

- (4) さくらさんは、たけしさんが考えた文字を使った式が何を表しているのかを考えています。式が表す場面を下のアからエまでの中から1つ選んで、記号を書きましょう。

【たけしさんが考えた文字を使った式】

$$32 \div x = y$$

【式が表す場面】

ア x ページの本があります。32ページ読んだときの残りは y ページです。

イ 面積が 32 cm^2 の平行四辺形があります。底辺が $x \text{ cm}$ のとき、高さは $y \text{ cm}$ です。

ウ x 個のあめを32人で等分したら、一人分は y 個でした。

エ 赤い紙が x 枚、白い紙が y 枚あり、赤い紙と白い紙の合計は32枚です。

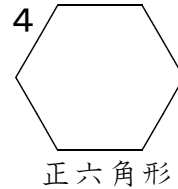
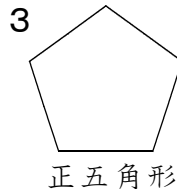
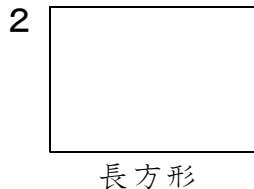
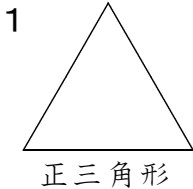
8

※次のページにも、問題があります。

3

えいたさんは、対称な図形の学習をふり返っています。
次の問題に答えましょう。

- (1) えいたさんは、対称という見方でこれまでに学習した図形を見直したとき、線対称でもあり、点対称でもある図形があることに気づきました。
下の1から4までの中から、線対称でもあり、点対称でもある図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。



- (2) 右の図形は点対称な図形ですが、えいたさんは、この図形の対称の中心が見つけれず、こまっています。



対称の中心を見つける方法を下のアからエまでの中から1つ選んで記号で答えましょう。

- ア 底辺の真ん中をとる垂線を引き、その垂線が対称の中心です。
イ 1本の対角線を引き、その対角線が対称の中心です。
ウ 2本の対角線を引き、その対角線が対称の中心です。
エ 2本の対角線を引き、対角線が交わったところが対称の中心です。

10 方法

また、その方法で見つけられるわけを下の1から4までの中から1つ選んで記号で答えましょう。

- 1 点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心と垂直に交わるからです。
2 点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通るからです。
3 対称の中心から、対応する2つの点までの長さは等しいからです。
4 対称の中心は、図形の真ん中にあるからです。

11 わけ